

韓国

医療設備拡充事業(ソウル大学病院)



歯科用頭部測定機器

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	4,320百万円 / 4,169百万円
借 款 契 約 調 印	1990年10月
借 款 契 約 条 件	金利4.0%、返済25年(据置7年)
貸付完了	1996年1月

[事 業 概 要]

ソウル大学病院の老朽化した医療機器を更新するとともに、難治疾患の予防と治療のための研究設備を導入することにより、医療水準の向上を図るもの。

[評 価 結 果]

本事業により、1995年末までに、ソウル大学病院において医療用老朽化機器762点が更新された他、歯科用機器405点、難治疾患研究用機器204点等、計1,372点の機器が新規導入された。これらの機器は、調達から7年以上経過し既に寿命に達し廃棄されたものもあるが、概ね良好な状況で利用されている。

同病院の病床稼働率の推移を見ると、1990年代を通じて約90%という高い稼働率を維持しており、診察・治療に対する信頼性の高さが窺える。他方で、入院患者の平均在院日数は減少傾向にあり、医療水準の向上が寄与しているものと見られる。

また、本事業と並行して1990年代前半に医師の大幅な増員が行われており、外来診察数は1988年の約3千人に対し2001年には約5千人に達している。本事業が医師数の増加とあいまって診察能力の向上を支え患者の医療ニーズに応えたものと評価される。

なお、機器の維持管理に問題はなく、今後とも同病院の経営努力を通じた自立的な発展が期待される。